



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所 東・名
 コード番号 7975 URL http://lihit-lab.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中宏和
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)大内高明 (TEL)06(6946)2525
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	6,861	2.1	65	△75.8	279	△32.9	152	△38.2
26年2月期第3四半期	6,720	1.2	270	5.5	416	95.3	246	123.0

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 164百万円(△60.0%) 26年2月期第3四半期 411百万円(255.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	8.97	—
26年2月期第3四半期	14.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	13,221	8,603	65.1
26年2月期	13,128	8,524	64.9

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 8,603百万円 26年2月期 8,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	3.4	100	△55.7	200	△47.6	110	△47.3	6.48

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期3Q	19,078,500株	26年2月期	19,078,500株
27年2月期3Q	2,093,850株	26年2月期	2,091,898株
27年2月期3Q	16,985,665株	26年2月期3Q	17,387,917株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年11月30日）の我が国経済は、政府・日銀の経済・金融政策を背景に緩やかな回復基調にあり、輸出・大企業等の企業収益の改善が進んでおりますが、一方で地方や内需型の中堅・中小企業は依然厳しい状況で推移いたしました。また消費税率引き上げや円安等による物価上昇等の影響により、個人消費も低調に推移いたしました。

当業界におきましては、法人需要が依然として低調のまま推移し、個人需要も低調な状況が続き売上が伸び悩みなか、円安によりコストが大幅に上昇し、非常に厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループでは、事務用品等事業において「良い品はお徳です」をモットーに、積極的にパーソナルユースの購買層の幅を広げるべく、魅力ある新製品を投入するとともに海外市場の開拓等売上の拡大に努め、生産の効率化を進めてまいりました。

新製品では、SMART FIT(スマートフィット)シリーズやAQUA DROP s(アクアドロップス)シリーズ、机収納シリーズ、バッグ・イン・バッグ等が順調に売上が伸びました。

一方、既存製品群は、新製品との入替等が進行しましたが、売上はほぼ横ばいとなりました。

この結果、事務用品等事業の売上は、消費税率引き上げ等の影響を受けましたが、新製品投入効果が寄与し、若干の増収となりました。

また、不動産賃貸事業の売上は、テナント賃貸収入等の減少により、若干の減収となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における売上高は、68億6千1百万円（前年同期比2.1%増）となりました。利益面につきましては、内製化の一層の推進や経費の削減に努めましたが、為替相場の急激な円安進行等により事務用品等事業の製品、原材料等の調達コストが大幅に上昇したため、営業利益は6千5百万円（前年同期比75.8%減）となりました。経常利益は、USドル建債権等による為替差益1億9千8百万円を計上したこと等により2億7千9百万円（前年同期比32.9%減）となり、四半期純利益は1億5千2百万円（前年同期比38.2%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高（百万円）	構成比（%）	前年同期比増減（%）
フ ァ イ ル	2,280	33.2	△0.9
バインダー・クリヤーブック	1,536	22.4	2.1
収 納 整 理 用 品	1,870	27.3	9.4
そ の 他 事 務 用 品	899	13.1	△2.7
事 務 用 品 等 事 業	6,586	96.0	2.3
不 動 産 賃 貸 事 業	275	4.0	△2.1
合 計	6,861	100.0	2.1

【事務用品等】

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

＜ファイル部門＞

ルーパーファイル、アクアドロップス・リングファイル、パンチレスファイル、リクエスト・D型リングファイル等は、売上が堅持いたしました。別製品受注が法人需要低迷の影響が続き、伸び悩みました。その結果、ファイル部門の売上高は22億8千万円（前年同期比0.9%減）となりました。

＜バインダー・クリヤーブック部門＞

新製品では、AQUA DROP sシリーズのクリヤーブック＜ポケット交換タイプ＞や、コロモガエ ダイアリー2015、1/3（ワンサード）インチピッチシリーズのプレゼン資料製本用多穴パンチが売上が伸び、既存製品では、リクエスト・クリヤーブック、ツイストリング・ノートが売上が維持いたしました。その結果、バインダー・クリヤーブック部門の売上高は15億3千6百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

＜収納整理用品部門＞

新製品では、SMART FITシリーズのキャリングバッグ、キャリングトートバッグ、キャリングドキュメント、モバイルポーチ等や、机収納シリーズの机上台や机下台のほか、AQUA DROP sシリーズのファイルケース、コングレスケース等薄型ケース類が大きく売上が伸びました。また既存製品では、SMART FITシリーズのキャリングポーチ、バッグ・イン・バッグ、AQUA DROP sシリーズのポイントカードホルダー等が売上が伸びました。その結果、収納整理用品部門の売上高は18億7千万円（前年同期比9.4%増）となりました。

＜その他事務用品部門＞

新製品では、家庭向けメディカル用品のMS+（エムエスプラス）が売上を持続しましたが、既存製品等が低調に推移し、その他事務用品部門の売上高は8億9千9百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は、65億8千6百万円（前年同期比2.3%増）となり、営業利益は、円安に伴う調達コストの大幅な上昇により4百万円となりました。

【不動産賃貸】

不動産賃貸事業は、市況低下による影響と本社ビルの貸室稼働率が低下したこと等により、売上高は2億7千5百万円（前年同期比2.1%減）となり、営業利益は6千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ9千3百万円増加し、132億2千1百万円となりました。これは、現金及び預金が増加したこと等によるものであります。純資産は、7千9百万円増加し86億3百万円となり、その結果、自己資本比率は65.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績見通しにつきましては、概ね計画通りに推移していることから、平成26年10月10日発表時より変更はいたしておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,221,040	1,531,072
受取手形及び売掛金	1,801,991	1,576,935
商品及び製品	1,479,713	1,462,503
仕掛品	70,618	66,257
原材料及び貯蔵品	682,596	690,513
繰延税金資産	86,617	91,374
その他	188,015	137,654
貸倒引当金	△3,649	△3,305
流動資産合計	5,526,943	5,553,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,671,882	2,634,820
機械装置及び運搬具（純額）	778,612	720,871
土地	2,925,180	2,925,180
リース資産（純額）	1,885	637
その他（純額）	146,377	132,395
有形固定資産合計	6,523,938	6,413,905
無形固定資産	56,552	55,726
投資その他の資産		
投資有価証券	631,511	815,950
その他	396,971	390,175
貸倒引当金	△7,450	△7,182
投資その他の資産合計	1,021,032	1,198,943
固定資産合計	7,601,523	7,668,575
資産合計	13,128,467	13,221,581

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	814,524	806,010
短期借入金	569,000	562,000
リース債務	1,656	725
未払法人税等	96,578	70,498
賞与引当金	111,381	157,995
役員賞与引当金	12,250	17,025
その他	410,166	516,356
流動負債合計	2,015,556	2,130,611
固定負債		
長期借入金	1,088,000	962,000
リース債務	329	—
繰延税金負債	209,856	246,523
退職給付引当金	883,817	871,295
役員退職慰労引当金	157,124	155,313
その他	249,564	252,334
固定負債合計	2,588,692	2,487,466
負債合計	4,604,249	4,618,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	5,357,938	5,425,287
自己株式	△397,599	△397,960
株主資本合計	8,202,201	8,269,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,737	285,104
繰延ヘッジ損益	33,845	14,824
為替換算調整勘定	121,434	34,386
その他の包括利益累計額合計	322,016	334,315
純資産合計	8,524,217	8,603,503
負債純資産合計	13,128,467	13,221,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	6,720,541	6,861,944
売上原価	4,427,982	4,724,931
売上総利益	2,292,558	2,137,013
販売費及び一般管理費	2,022,421	2,071,598
営業利益	270,136	65,414
営業外収益		
受取利息	563	836
受取配当金	7,782	9,470
受取保険金	2,632	6,477
為替差益	142,674	198,599
雑収入	15,522	21,987
営業外収益合計	169,175	237,371
営業外費用		
支払利息	13,832	11,268
為替差損	121	—
雑損失	9,014	12,051
営業外費用合計	22,967	23,320
経常利益	416,344	279,466
特別損失		
固定資産廃棄損	4,012	4,888
特別損失合計	4,012	4,888
税金等調整前四半期純利益	412,332	274,577
法人税、住民税及び事業税	194,097	143,028
法人税等調整額	△28,209	△20,733
法人税等合計	165,887	122,295
少数株主損益調整前四半期純利益	246,444	152,281
四半期純利益	246,444	152,281

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	246,444	152,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99,786	118,366
繰延ヘッジ損益	141	△19,020
為替換算調整勘定	65,590	△87,047
その他の包括利益合計	165,517	12,298
四半期包括利益	411,962	164,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	411,962	164,580
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,439,606	280,934	6,720,541	—	6,720,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,126	1,126	△1,126	—
計	6,439,606	282,060	6,721,667	△1,126	6,720,541
セグメント利益	209,075	61,061	270,136	—	270,136

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,586,894	275,049	6,861,944	—	6,861,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,107	1,107	△1,107	—
計	6,586,894	276,157	6,863,051	△1,107	6,861,944
セグメント利益	4,629	60,785	65,414	—	65,414

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。